

町民のひろば

さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) 79

奇妙な(パ)行方言の巻



八木 ^{ななみ}七海ちゃん

(3歳3カ月・下町)
洋さん・聖子さん次女

甘えん坊で慎重派の七海。観察力がするどく、じーっと見ていていつの間にかマスターしてしまうしっかり者。おしゃべりやお手伝いなど何事もいっちょ前。それなのになぜか動物は全般的に「こわ〜い」と、遠巻きに眺めています。思いやりのある優しい子に育ててほしいな。

聖子



西館 ^{りょうた}亮太くん

(3歳1カ月・田子)
純也さん・志津子さん長男

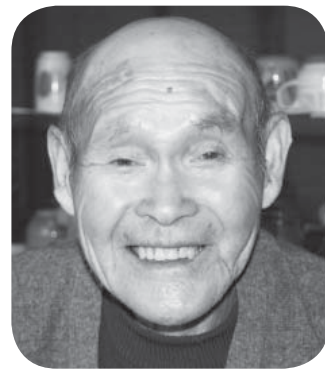
1歳半ごろまで体が弱く、何度となく入院を強いられていた亮太。今では、元気に保育園に通っています。亮太の好きな遊びは、牛の世話ごっこ。ぬいぐるみの牛をひもでつなぎ、餌にはブロックを代用してすっかり酪農の若き担い手です。素直な心を忘れず、丈夫に育ててほしいです。

志津子



ハイ・元気です

188



大下 仁八さん
(88歳・元木)

今年米寿を迎えた仁八さんは、百姓歴七十年の現役農業人。働くことが何よりも好きで、一番の楽しみは、妻と息子と三人で行う野菜の出荷作業。「無事に作業を終え、肩の荷が降りる感じが何とも言えない」と目を細めます。適度に働いて体を動かし、食事をおいしくいただく。これがお元気の秘けつだそうです。

「妻が家を守ってくれるから、安心して好きな畑仕事を続けられる」と照れ臭そうに妻のサトさんに感謝の言葉。秋じまいも済み「春まで私の節句です」と、満面の笑みを浮かべる仁八さんです。

皆さんが参加するコーナーです。耳よりの情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。総務企画課公聴広報統計係 内線 257

気軽に寄り合い・充実した時間

～新町老人クラブが優良クラブ賞を受賞～



新町老人クラブ福寿会(柴田勇雄会長、会員40人)は、本年度の全国老人クラブ大会で、優良クラブ表彰を受けました。全国大会は10月30日に奈良市で開かれ、表彰状と盾が贈られました。

約13年前、6の付く日に集まる「六の会」がスタート。亡くなった遠藤昌次さんが、「定期的集まる場所をつくろう」と呼び掛けたのが始まりでした。玄米ダンベルを用いた健康体操や医師や歯科医師による講演、ニュースポーツ、歌や踊りなど毎回趣向を凝らした内容。「出てくるととっても楽しい。みんな誘っています。私は6の日は必ずこの会のためにあけておくんですよ」と副会長の熊谷ミヨさん。気軽に参加できる雰囲気長く続いている秘けつのようなのです。

農地の再生に助っ人登場 坂待純一さんがコーディネーターに



「よみがえった農地で栽培支援まで出れば」と意欲満々です。

増え続ける県内の耕作放棄地の農地再生に向けた活動を行う「農地再生コーディネーター」に坂待純一さん(61歳・小田)が就任。十一月から活動を始めています。コーディネーターは、県の「いわて農地再生プロジェクト緊急対策」の事業で県内に6人が配置されたもの。坂待さんはJA新岩手葛巻中央支所に席を置きながら、まずは町内の再生可能な農地や各農家の意向把握に奔走しています。



市村 あゆみさん (23歳・五日市)

ブーケ・トスをキャッチして

「若い農業者の皆さん、農業者年金に加入してください。笑顔で対応します」としっかりPRするあゆみさん。地元葛巻高校を卒業後、福島県にある専門学校へ進み、医療事務や情報処理を勉強。現在、役場の農業委員会で臨時事務員として働いています。人の名前を覚えることが得意で、農業委員さんの名前も短期間でバッチリ。

今一番したいことは、京都や会津若松など、歴史的な静かなところを旅行すること。ショッピングが好きでよく仙台へは行ったりするそうです。

「先月、友達の結婚式でブーケ・トス、思いがけずキャッチして……」まだ願望?はないが、器の大きい頼りになる男性が理想。

家族の中心になっている愛犬「そら」、姉妹のようなお母さんと楽しい家族5人暮らし。「葛巻に帰ってきて、とにかく食べ物おいしい」と地元葛巻と家族の良さを実感しているあゆみさんです。

今日のショット



第26回福祉チャリティーショー・芸能発表会
第35回町民まつり
(11/22)